

Prologue



7位 岡崎 (NIPPO)
OKAZAKI (NIPPO)



新良 (愛三)
SHIMBO (AISAN)

3位 西谷 (愛三)
NISHITANI (AISAN)

2005大会 雨中のスタート!

今大会のプロローグで注目選手は一昨年、昨年と2連覇中の西谷泰治 (愛三工業)。そのライバルとしてチームメイトの盛 一大が挑む。気温も低く、コンディションも悪い中、勝利の行方に注目が集まった。

9/14 wed. 帯広市 プロローグ 個人タイムトライアル 4.6km

帯広市
Obihiro City



スタート
Starting zone

西谷泰治 (愛三工業) プロローグ3連覇なるか!?

朝から降り続く雨の中、帯広市の十勝川河川敷で、ツール・ド・北海道は19回目のプロローグを迎えた。13時00分、98人の出走者の先陣を切って、エンリコ・ツィン (ドイツ) がスタート、1分間隔で次々と選手達が続いた。

まず最初に好タイムを出したのが14番スタートのエディ・ラッティ (NIPPO)。6分00秒80のタイムで、トップに立ち続ける。しかし55番目に登場した盛 一大 (愛三工業) が、優勝候補という戦前の評価に応え5分52秒02と、トップ記録を大幅に更新。雨や風の影響もあり、

選手達の記録が伸び悩む中、マーク・ウォルターズ (カナダ) も6分を切る5分58秒54の快走を見せ盛に続いた。

そして迎えた最終走者。一昨年、昨年と連続優勝し、プロローグ3連覇の偉業をかけた西谷泰治 (愛三工業) がスタート。タイムに注目されたが、5分58秒64とスピードに乗り切れず3位。実業団一年目の盛が、本年度最初のマラカイトジャージを手にした。盛、西谷の両雄の活躍が光った愛三工業は、今年も団体総合トップの好スタートとなった。



廉 (韓国)
YOUM (Korea)



洪諒 (チャイニーズタイペイ)
HUNG HSU (Chinese Taipei)



柳原 (北海道大)
YANAGIHARA (Hokkaido Univ.)



ボムバハ (ドイツ)
BOMBACH (Germany)



エメリヤノフ (ロシア)
EMEL'YANOV (Russia)



劉 (韓国)
YOU (Korea)



彭 (チャイニーズタイペイ)
PENG (Chinese Taipei)